

雑 報

昭和58年度水理実験センター年次研究報告会

日 時 昭和59年2月24日(金) 9:30~17:30
場 所 水理実験センター会議室

プログラム

開 会 の 辞

- | | |
|---|---|
| <p>9:30~9:35 センター長 吉野正敏</p> <p>(1)9:35~9:50 日本の諸都市におけるヒートアイランドの強さの特性一特に気象要因および都市の規模との関係について—
○小泉 隆(環院)</p> <p>(2)9:50~10:05 風と牧草群落のゆれ
○林 陽生(地)</p> <p>(3)10:05~10:20 30m鉄塔で観測された気象要素の長周期変動
○甲斐憲次(水セ)</p> <p>(4)10:20~10:35 出島台地の湧水の水量と水質について ○池川智祥(自)
田瀬則雄(地)</p> <p>(5)10:35~10:50 出島台地の地下水水質の年変化パターン
○倉田 文(環院)田瀬則雄(地)</p> <p>10:50~11:00 休 憩</p> <p>(6)11:00~11:15 台地に水源を有する河川の流出特性
○V・ナンダクマール(環院)
新藤静夫(地)</p> <p>(7)11:15~11:30 融雪浸透水が地温および地下水温に及ぼす影響
○谷口真人(地院)</p> <p>(8)11:30~11:45 鉛直二次元砂箱モデルの散水装置について
○A. K. アリム(地院)</p> | <p>(9)11:45~12:00 気球写真による分布図の作成について
○田瀬則雄(地)市川 当(地研)</p> <p>12:00~13:00 昼食休憩</p> <p>(10)13:00~13:15 誘電式水分計のキャリブレーション
○中川慎治(水セ)向井雅之(自)
古藤田一雄(水セ)</p> <p>(11)13:15~13:30 NaCl をトレーサーに用いた地中水移動に関する実験的研究
○向井雅之(自)
古藤田一雄(水セ)</p> <p>(12)13:30~13:45 ヒートパルス速度自記測定装置の作製 ○杉田倫明(地院)
古藤田一雄(水セ)</p> <p>(13)13:45~14:00 ポーエン比・熱収支法と渦相関・熱収支法によるアカマツの林冠上の潜熱フラックスの測定 ○杉田倫明(地院)
古藤田一雄(水セ)</p> <p>(14)14:00~14:15 蒸発散量の推定式の適用性について ○中川慎治(水セ)</p> <p>(15)14:15~14:30 航空機遠隔測定による地表面温度分布と熱収支の関係
○古藤田一雄(水セ)
甲斐 憲次(水セ)
中川 慎治(水セ)
吉野 正敏(地)
黒坂裕之(文教大)</p> |
|---|---|

- 14:30~14:35 休 憩
- (16)14:35~14:50 蛇行河川の模擬実験
○小玉芳敬(自)
池田 宏(地)
- (17)14:50~15:05 思川下流蛇行河道屈曲部にお
ける洪水堆積物の分布につ
いて ○新沢祐子(自)
池田 宏(地)
- (18)15:05~15:20 鬼怒川中流部の河床物質の粒
度組成 ○梶川信夫(自)
井口正男(地)
- (19)15:20~15:35 安定河道形状に関する実験的
研究 ○仲井敬司(自)
池田 宏(地)
- (20)15:35~15:50 碎波による波食棚の形成に関
する実験 ○辻本英和(地院)
砂村継夫(地)
- (21)15:50~16:05 二、三の土のクリーブ特性と
その地形学的意味について
○今永 元(自)
松倉公憲(地)
水野恵司(地院)

- 16:05~16:10 休 憩
- (22)16:10~16:25 未固結砂の定方位薄片作製と
その堆積学的意義
○増田富士雄(地)
須崎 和俊(地)
- (23)16:25~16:40 急出発する円弧翼まわりの流
れと流体力の数値実験
○泉 耕二(水セ)
- (24)16:40~16:55 砂堆の発達にともなう浮遊砂
濃度の変化
○伊勢屋ふじこ(地院)
- (25)16:55~17:10 水路下流端可動堰による水面
勾配の調整法
○飯島英夫(水セ)
池田 宏(地)
- (26)17:10~17:25 二粒径混合砂礫の流送実験
○池田 宏(地)
- 17:25~17:30 閉会の辞
センター長 吉野正敏

※ ○印は口頭発表者

※ ()は所属

地…地球科学系 水セ…水理実験センター 自…自然学類 地院…地球科学研究科
地研…地球科学系研究生 環院…環境科学研究科 文教大…文教大